

令和7年度村づくり懇談会 記録シート

日 時：3月12日（木）18：30～20：00

対象地区：南原・判之木・やつがね

会 場：南原公民館

いただきましたご意見の概要及び回答は以下のとおりです。

発言者のご意見
ごみステーションの関係で困っている。村でどこにだしてもいい説明をしている。区に入らなくてもどこでも出せるアナウンスをしている。
村の回答
ももとは区に加入していなければ出せないと説明。ごみステーション管理を村が補助をだしている関係で担当部署の考えが変わった。中新田区のように取り組みを変えた例もある。今回をきっかけに、やり方を統一していきたい。区の意見を聞いていきたい。
発言者のご意見
消防団負担金を区で負担している。区の街灯。日常の側溝整備。出払いでお金がかかっている。そこまでアナウンスをしてほしい。
村の回答
もう少し役場でアナウンスをしていきたい。
発言者のご意見
新しくきた人の書類が役場からくる。村として新しい人に対して区のシステム、行事等を紙で渡している。その後、また区長が二重の説明する方がいい。もっと細かく具体的に。
村の回答
転入時に加入のお願いをしている。区長情報提供に同意を求めている。同意した方に区に情報を渡している。ご意見として聞く。検討していく。
発言者のご意見
転入者に情報提供について同意を求めているので、同意がなければ対処できない。そういった人が増えると区としては難しい。災害時の関係構築もできない。こういった方向でいけばいいか疑問。
村の回答
個人情報の関係がある。防災の観点から区に情報を求められる場合もある。ごみステーションの関係は区長に相談するようなやり方もある。もう少し考えていきたい。

<p>原山では防災のために LINE グループに入ってもらっている。防災は区の加入のきっかけとなる。</p>
<p>発言者のご意見</p>
<p>村人気がある話があったが。原山自治会は人口が多い。森林と居住区分けたいという話が五味村長時代にあった。地元は水源に関わる。やつがね区は高齢化率が高い。半分は65歳。空き家が増えてきている。移住者は終の住処としてきている。村としても若い移住者が増えてほしいと思うが、どう考えるか。</p>
<p>村の回答</p>
<p>エコーラインより上に住む人が増えてきている。令和8年度から新しい補助金をつくる。若者世代の移住促進が目的。家財購入の補助。区に加入で加算、エリアでの加算、村内事業者の利用での加算等の仕組みがある。施策を活用しながら。グランドデザインも計画している。前村長のことも引き継ぎながら。 環境保全条例の見直しも進めている。合併浄化槽の点検率は高い状況である。指導もしている。水質検査も令和8年度で予算計上している。</p>
<p>発言者のご意見</p>
<p>人口が減ることを危惧している。土地があるのに農地法の関係がある。特区のような仕組みがあれば。規制が緩くなれば人口増加に繋がる。思い切って企業を呼ぶなどしてほしい。</p>
<p>村の回答</p>
<p>担当部署と話をした。残した方がいい農村風景を整備していきたい。まさにグランドデザインである。下水道を整備しないと人は増えない。民間の力を借りてやっていきたい。地元の意見を聞いてやっていきたい。</p>
<p>発言者のご意見</p>
<p>育児にはお金がかかる。区費の負担がある。妻が村民で、入区するものとなった。とりあえず入区するが、他地区のことが分からない。区費の比較もできない。入ってもメリットは感じない。役員負担もある。ごみの場所、災害時が強いて言えばメリット。保険の考えと一緒に。打開策も思い浮かばないが。入らない人も多い。</p>
<p>村の回答</p>
<p>区費はいろんな区で違う。それぞれの区に歴史がある。区の重要性がある。区の負担の意見も分かる。区費の透明性が大事だと感じる。</p>
<p>発言者のご意見</p>
<p>加入金を変えてもいいと思うが、意見まとまらない。</p>
<p>村の回答</p>
<p>区費に入らない人が高くなる区もある。</p>

発言者のご意見
入区金の変更事例も区長会等で紹介してほしい。提案してほしい。透明性の面でも。
村の回答
検討していきたい。
発言者のご意見
他地区の事例聞きたい。未加入者や別荘者の扱い。別荘の定義など。
村の回答
定義はよくわからない。大久保区は家があれば区費をもらっている。中新田区は協力金の制度も作った。払沢区は入らなければ区へ払う金額も高くなると聞いた。ごみ捨てについて厳しく指導するところもある。柏木区でも改革しようとしてできなかった。一覧にすることも大事なことと感じる。
発言者のご意見
ごみの捨て方について、村はそれぞれの区に捨てるよう指導している。二転三転している。判之木はコミュニティセンターの中にある。判之木区以外はそこに入っちゃいけないという理解である。だから消防署の東側に捨てるように整理しているようにしていると思った。そもそも村でごみを捨てる場所を用意していることが中途半端である。
村の回答
昔は区が管理をしているので、区民のみと指導していた。議会の一般質問でごみは村の補助金で設置しているから、どこで捨ててもいいと言われた。そこから変わった。使用時には区長さんに確認するよう指導している。理解を得られない方もいる。意見としてはよく分かる。検討していきたい。
発言者のご意見
17年前に東京から移住してきた。村の方が暖かい。区民の方との関係が良ければ解決すると思っている。東京のころは隣人の顔も分からない。そことくらべれば区費高いが、関係はかけがえのないもの。なるべく分かりやすいようにしてほしい。
村の回答
暮らしの温もりは素晴らしいこと。
発言者のご意見
ごみの関係、議論すれば正解があるか。
村の回答
話し合わないと正解がだせない。

発言者のご意見
判之木区人口が少ない区。総会出席者の半数が高齢者。今後役員のなり手不足の未来がある。少人数で成り立っているモデルケースを知りたい。
村の回答
調べてみたい。いいところやダメなところも含めて。
発言者のご意見
この参加者が村の現状。今の若者は興味がない。村長と同じ世代は期待している。
村の回答
興味を持ってもらえるよう頑張っていく。
発言者のご意見
物価高騰で区費を上げないといけませんが、区をやめる懸念がある。自治会が成り立たないと村はどうするのか。
村の回答
モデルケースも調べていきたい。物価高騰では R8 で国の交付金を活用し交付する予定。
発言者のご意見
先ほど説明があった、区加入で加算される補助金は継続してやっていくか。
村の回答
補助金は3年ごとに見直しをしている。補正予算等で対応していく。不足すれば予算確保していきたい。
発言者のご意見
若い世代も収入格差がある。将来的には子どもが中学卒業したら辞めたいと言われた。その人たちの暮らしもある。本当に入区する人は連絡をくれる。
村の回答
難しい課題。集落支援員制度を活用していく。実績を共有していきたい。